



## 実践団体・プラン基本情報

## 実践団体の基本情報

記入日	西暦 2024 年 1 月 19 日 (2023 年度のチャレンジプラン)
プラン名	防災人材輩出のための防災キャリア教育
実践団体名	よんなな防災会学生部
代表者名	藤田翔乃
電話番号	080-3844-8058
メールアドレス	47bosaikai.student@gmail.com
実践団体の説明	防災に関心のある学生が参加する任意団体です。47 都道府県の地方公務員と中央省庁で働く官僚が集まる「よんなな会」から、防災に興味がある人たちが繋がる「よんなな防災会」が 2019 年に設立され、そのうち学生が活動を行う「よんなな防災会学生部」が 2020 年に設立されました。現在は、高校生～大学院博士課程までの約 85 名が参加しています。特徴としては、①全国の異なる学年・学校の学生と繋がれる、②Facebook などを通してメンバー間で他に所属している団体の情報発信がし合える、③派生元の「よんなな防災会」の社会人の方とも繋がり交流ができることが挙げられます。
所属メンバー	運営メンバー ・ 京都大学大学院情報学研究科 藤田翔乃 ・ 筑波大学大学院理工情報生命学術院 上田啓瑚 ・ 玉川大学教育学部 村瀬公平 ・ 兵庫県立大学環境人間学部 田尻翔吾 ・ 横浜国立大学理工学部 藤田楓
活動の本拠地	主にオンラインで活動。全国の学生が参加している。
活動開始時期・結成時期	2020 年設立
過去の活動履歴・受賞歴	2022 年度 クラウドファンディングで資金調達し、キャリア冊子作成 2021～2023 年度 ぼうさいこくたいに参加



## プランの基本情報

プランでの実践主体	14. その他（具体的に：学生団体）
プランの運営側の人数（実数）	約 5 人
プランの活動地域	全国の学生が参加しているため、主にオンラインで活動。
プランの防災教育の対象者	6. 中学生 7. 高校生 8. 大学生
防災教育の対象者の人数（実数）	約 300 人(冊子を配布する人数)
プランが対象とする災害	9. 災害全般
プランの活動目的	1. 防災意識を高める 3. 防災に関する知識を深める 8. 防災に役立つ資料・材料づくり 10. その他（具体的に：学生のキャリア形成）
対象者が身につく知識・技能等	9. その他（具体的に：キャリア形成に必要な知識）
プランの活動形態	3. 講演会・シンポジウム 17. その他（具体的に：資料作成）
プランでの連携先	16. 個人
実践にかかった金額	30 万円未満



## プランの年間活動記録

	プランの立案と調整	活動準備	実践活動
4月			防災とキャリア Vol.16 開催
5月	防災 NEXTalk 計画立案		
6月			第一回防災 NEXTalk 開催
7月	ぼうさいこくたいでの活動内容計画立案		第二回防災 NEXTalk 開催
8月			防災とキャリア Vol.17,18 開催
9月			防災とキャリア Vol.19 開催 ぼうさいこくたい 2023 参加
10月			防災教育チャレンジプラン中間報告会 よんなな防災会ぼうさいこくたい振り返り報告会での発表
11月			防災とキャリア Vol.20,21 開催
12月			防災とキャリア Vol.22 開催 防災とキャリア冊子制作(原稿執筆)
1月	防災とキャリア冊子配布先の決定		防災とキャリア冊子制作(ファイル作成)
2月	次年度の運営体制の会議		防災とキャリア冊子制作(印刷&配布予定)
3月			



## 実践したプランの内容

プラン全体の概要	<p>将来の大規模災害を見据えて、その時代に生きる若者の防災意識との向上と、将来の社会を防災から守る防災人材の育成は喫緊の課題である。今回のプランは、特に中学生・高校生・大学生といった学生に対して、防災に関わるキャリアのイベントや冊子の制作を行い、防災人材輩出のための防災キャリア教育を行う。</p> <p>具体的に、「防災とキャリア」という防災に関わる仕事をされている方を招き、ご講演していただくオンラインイベントを開催した。その講演内容をまとめた冊子を制作し、全国の防災に関心のある学生に配布した。また、ウェブサイトを作成しイベントの告知や冊子の PDF ファイルを掲載することで、多くの学生が防災キャリアの情報を取得できるようにした。さらにぼうさいこくたいにて、防災業界地図と学生が作る絵馬の作成をし、他の団体や学生とのつながりができた。</p>
プランの「チャレンジ」の結果	<p>「防災とキャリア」を 2023 年度で合計 7 回実施したが、SNS やウェブサイトを用いて参加者募集のためのイベント告知に尽力し、参加者数増加を図った。また、社会人の方も聴講のみ参加可能に制度を変えた。結果、1 回のイベントで最高 16 人の方が参加した。</p> <p>昨年に引き続き防災とキャリアの講演内容をまとめて、冊子制作を行った。講演者の経歴や想いを読みやすいようにかつ、重要なことを学生に伝えられるように文章をまとめた。インターネットや書籍では学べない防災とキャリアに関するオリジナルな情報誌ができたと言える。</p> <p>オンラインでの活動がメインである当団体の位置付けを考え直し、全国に散らばる学生団体を繋ぐようなハブ的な存在となることを目指した。そのために、ぼうさいこくたい</p>



	<p>で他の団体を巻き込むようなイベントを行ったり、他の団体の出展に参加したり、他の団体に講演を行ってもらうようなオンラインイベントを開催した。定量的な評価はできないが、当団体の認知度は学生団体の中でも向上したと考えている。</p>
--	--

実践内容・  
方法・成果

- 「防災とキャリア」という防災に関わる仕事をされている方を招き、ご講演していただくオンラインイベントを開催した。運営メンバーが持つ繋がりや知りたい防災分野を考慮して講演者を話し合って決定し、メールや SNS を通して個人的に講演依頼を行った。このとき多様なキャリア情報を学生に提供することを意識して、講演者選びを行った。このイベントでは、講演者に経歴や仕事内容、その想いを話していただき、学生のキャリア形成に必要な情報を提供した。講演の後は、ブレイクアウトルームに分かれて学生間で講演について話し合い、対話により新たな関係を生み出すようにした。昨年度までは、学生のみが参加できるようにしていたが、今年度からはブレイクアウトルームの議論以外には社会人の方も参加できるようにした。このイベントは 2023 年度に合計 7 回実施した。この講演のレコーディング動画はのちに編集を行い、当団体メンバーのみで閲覧ができるよう Youtube の限定公開を行った。この動画により、見逃した方や後から入った方にも講演内容がわかるようになっている。

よんなな防災会学生部イベント

**BOSAI**  
よんなな防災会学生部

**防災とキャリア vol.17**  
～子育てを経験して見つけた！  
「ウツシ流防災キャリア」の歩き方～

2023年8月8日(火)19:00～21:00

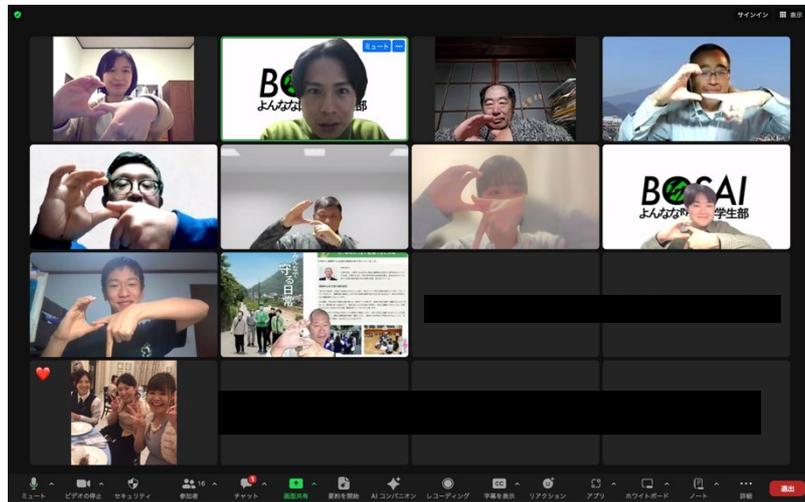
Guest ママコミュ！ドットコム 代表  
**出水 眞由美 氏** on zoom

**GUEST PROFILE**

東日本大震災で多くの子どもが命を奪われた事実  
に心を揺さぶられ、防災の大切さを痛感。  
管理職ワーママとして悪戦苦闘する中で「子育てが  
プラスのキャリア」になる生き方、働き方について  
深く考える中で非営利の子育て応援コミュニティ  
「ママコミュ！ドットコム」を設立。子育て層には  
防災を自分ごとから「家族ごと」に変えるきっかけ  
を、子どもには自分の命を守る「一生モノの防災  
力」を培う「防災カレッジ」を開校している。

**PROGRAM**

19:00～19:05 オープニング  
19:05～20:05 ゲスト講演  
20:05～20:15 ブレイクアウトルーム(グループで感想共有)  
20:15～20:35 ゲストへの質疑応答  
20:35～20:50 ブレイクアウトルーム(今後の自分の防災との関わり方)  
20:50～21:00 クロージング  
21:00～ アフタートーク(自由参加)  
※時間は目安になります



- そして、昨年と引き続きこの「防災とキャリア」の講演内容 10 回分をまとめた冊子を作成した。見開き 2 ページで 1 名の講演者のキャリアについて学べるようになっており、さらにコラムとして講演に関する専門用語を説明している。特に、講演者自身の防災に対する想いを載せることを意識しており、ネットや書籍などには載っていないオリジナルなキャリア情報誌を作成した。この冊子は、全国の防災に関心がある学生や学生団体に配布し、多くの学生に防災のキャリア形成に有効な情報を提供する予定である。昨年と引き続き、ネットで調べたりメンバーが持つコネクションを用いたりして全国の防災の学生団体の連絡をして配布する。また、学生が参加する防災イベントなどにも参加して配布する。



### 岡本正さん

## 防災×法律

顧問パートナーズ法律事務所代表弁護士



**これまでの経歴**  
大学を卒業した年に司法試験に合格して1年半司法修習をして、その後東京で弁護士事務所を開設し弁護士業務に参入しました。2009年に防災教育チャレンジプランの様々な人材を集めるような活動を行っていたのがきっかけで、内閣府に出向しました。その後個人事業主を開業して、選手を指導し大学で非常勤講師などを行っています。

**弁護士の災害支援活動**  
内閣府に出向中に東日本大震災が起きました。自然災害や地震から発生している被害の被害者たちは災害対応や被災地に行く支援活動を行っていましたが、その中で弁護士という職業は災害には関係がなさそうなのではないかと感じ、なぜ弁護士をやっているのかわからないという質問にもなりました。ところが、弁護士のオンラインプラットフォームが震災で被災地支援活動を行っていたことを知りました。震災は被災者が亡くなるのを防ぐのが目的で、被害や被害の回復などをサポートするのではなく、被災者自身を支援する活動に力を入れていることがわかりました。震災は被災者が亡くなるのを防ぐのが目的で、被害や被害の回復などをサポートするのではなく、被災者自身を支援する活動に力を入れていることがわかりました。

**東日本大震災での法律相談の経験**  
震災後は、弁護士たちの活動が被災者のサポートに力を入れていることがわかりました。震災は被災者が亡くなるのを防ぐのが目的で、被害や被害の回復などをサポートするのではなく、被災者自身を支援する活動に力を入れていることがわかりました。

**法律相談の分析結果**  
例えば日本大震災での法律相談を見てみると、相続や遺贈トラブル、ローンが払えないといった相談が多くありました。また、震災に関する法令の相談も多く、自治体も様々な支援制度に基づいて対応ができていないという声も聞かれました。そして東日本大震災でも、被災者トラブルや被災者の相続トラブル、ローンが払えないといった相談の増加に気づかれました。大震災発生後は、どんな支援が必要なのかを考えると、どうしても重要であるのと、お金がなく支払いができないという相談が急増するということからこの結果がわかりました。

**災害復興法学の役割**  
このような被災者の声をキャッチして分析する必要があると考えてきたので、他の人と協力して災害復興法学の分野に進みました。よく分析すると、この分野の支援やサポートが必要な分野が分かって、それに対応する必要な法律や制度の整理ができてきます。更に法律に責任を負う、被災者の権利保護や被災者の権利保護を促す役割も果たさなければなりません。この分野には、何がきっかけで、なぜの支援が必要なのかのプロセスを整理しなければなりません。次の新たな災害の被害者発生して法律を必要とするときに、これらのプロセスの整理を準備することが必要であると考えています。そしてこの分野は、生

**防災コラム 震災証明書とは？**  
震災証明書は、被災者が被災地の被災状況を証明し、確認した事実に基づいて交付する証明書で、被災者支援活動の推進や被災者の権利保護を促す役割も果たさなければなりません。この分野には、何がきっかけで、なぜの支援が必要なのかのプロセスを整理しなければなりません。次の新たな災害の被害者発生して法律を必要とするときに、これらのプロセスの整理を準備することが必要であると考えています。そしてこの分野は、生

- また、既存のウェブサイトを見やすいように改良して、団体概要やイベントの告知情報、「防災とキャリア」の冊子 PDF を掲載できるようにした。既存のウェブサイトではある 1 人のメンバーが特殊なプログラミング言語を用いて構築していた。しかし、今回は継続的な運営をするために、他の人にも扱える WordPress を用いて改良を行った。

[ホームページ](#) | [団体概要](#) | [イベント](#) | [メンバー募集](#) | [お問い合わせ](#)



**防災とキャリア vol.22**

防災をライフワークに考えている人に贈る言葉

[続きを読む](#)



**防災とキャリア vol.21**

子育てしながら進学・就職 ～好き なことを続けるために～

[続きを読む](#)



**防災とキャリア vol.20**

法律と防災「災害復興法学」を通して

[続きを読む](#)



**防災とキャリア vol.19**

建築とまちづくりと防災

[続きを読む](#)



**防災とキャリア冊子**

オンラインイベント「防災とキャリア」の講演内容を冊子にまとめました。防災の仕事内容や、キャリア形成、その想いなどが掲載されています！



- ぼうさいこくたい 2023 に参加し、防災業界地図と学生が書く絵馬の作成を行った。防災業界地図では、ブースに来た方の企業・団体の活動内容とその組織名を付箋に書いてもらった。どのような職業があるのかを学生に知ってもらい、わずかながらキャリア形成に有効であったと考えられる。学生の絵馬の作成では、学生に将来の目標や防災とどう関わっていくかを絵馬に書いてもらった。将来の目標を明確化するきっかけとなったとともに、他の人がどのような目標を持つかを知ることができたと考えられる。さらに、イベン



- トに参加した他の学生や団体と交流し、さらなる学生間の関係を構築した。
- 学生間での新たな関係構築を目的に、「防災 NEXTalk」という新たなイベントを開始した。ここでは、全国の学生の防災団体に日々の活動やその想いを、オンラインで発表していただきました。このイベントは、学生団体のアウトプットの場になるだけでなく、質疑応答やディスカッションにより防災活動に関する知見を獲得も目的としており、2023 年度には 2 回実施した。このレコーディング動画も Youtube 上で公開し、全国の学生生活動情報のプラ



	<p>ットフォームを目指している.</p>
--	-----------------------



- 当団体は Facebook などを通して、他の団体に所属している方がその団体の情報発信や、イベントの招待ができるようになってきている。今年度は、DMATの学生支部の DMAS との交流や、海上自衛隊護衛艦出雲見学案内などの情報が発信された。全国の防災に興味のある学生約 85 名に届く情報発信の場となっており、活発な交流ができていると言える。





プランにおける工夫：プランを実践する上で、下記について具体的に工夫をしたことはありますか。  
該当するものについて具体的な例を挙げながら記入をしてください。

**この項目は任意項目であり、全てを埋める必要はありません。当てはまるもののみ記入してください。**

1. 【準備段階】 <u>運営側の担当者を決める際の工夫</u> 例：役割分担を明確にした	
2. 【準備段階】 <u>地域のキーパーソンと連携する際の工夫</u> 例：自治会と連携をした	
3. 【準備段階】 <u>運営側を組織化する際の工夫</u> 例：協議会を作った	新たに団体に入会した人に対して、オリエンテーションを行い、イベントに参加しやすいような環境を整えた。
4. 【準備段階】 <u>対象者や対象地域の範囲を決める際の工夫</u> 例：活動範囲を限定した	
5. 【準備段階】 <u>準備時間を確保する際の工夫</u> 例：定例の打ち合わせを設けた	
6. 【準備段階】 <u>活動場所を確保する際の工夫</u> 例：公民館などを無料で使用した	
7. 【準備段階】 <u>活動資金を確保する際の工夫</u> 例：自治体の助成金に応募した	
8. 【準備段階】 <u>知識や情報を収集する際の工夫</u> 例：専門家による勉強会を開いた	
9. 【準備段階】 <u>教育・訓練プログラムや教材を作成する際の工夫</u> 例：webサイトを引用した	



<p>10. 【実行段階】<u>経験豊富なアドバイザーを確保する際の工夫</u> 例：実行委員に助言を求めた</p>	
<p>11. 【実行段階】<u>地域の理解を得て関係機関と連携する際の工夫</u> 例：行政・自治会等と共催した</p>	
<p>12. 【実行段階】<u>活動時間を確保する際の工夫</u> 例：総合学習の時間に実施した</p>	
<p>13. 【実行段階】<u>活動経費をなるべく抑える際の工夫</u> 例：必要物品を消防署から借りた</p>	
<p>14. 【実行段階】<u>他の実践団体と交流する際の工夫</u> 例：中間報告会でプログラムを紹介してもらい共有した</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぼうさいこくたいでは、学生や企業の方が参加できるような出展を行い、新たな関係構築を図った。</li> <li>・「防災 NEXTalk」を行い、他の学生団体に講演してもらうことで、新たな関係構築を図った。</li> <li>・「よんなな防災会」とともに活動をしたりして、社会人の方との交流も図った。</li> </ul>
<p>15. 【継続段階】<u>後任者を育成する際の工夫</u> 例：若手を入れた</p>	<p>ウェブサイトを他の人にも構築できるように改良した。</p>
<p>16. 【継続段階】<u>活動で得られた知識・経験を、かたちにまとめる際の工夫</u> 例：引き継ぎ書を作った</p>	<p>Youtube 上に講演を公開したり、冊子として物に残したりすることで、他の人にも見えるようにした。</p>
<p>17. 【継続段階】<u>活動の成果を外部に発信する際の工夫</u> 例：web サイトで発信した</p>	
<p>18. 【継続段階】<u>活動内容を見直す際の工夫</u></p>	



例：振り返りの会を開催した	
---------------	--

今後の活動予定・今後の展開	<p>オンラインイベント「防災とキャリア」を月一回ペースで行い冊子制作などを通して、キャリア形成に関する情報を提供する。他の学生団体に講演をしてもらう「防災 NEXTalk」を行ったり、他の団体と連絡をとったりして学生間の繋がりを全国的に作る。そして SNS とウェブサイトを用いて、更なる活動の情報発信を行う。</p> <p>最終的には防災のキャリア形成を行いながら、全国につながる学生団体のハブ的な役割を担うことを目標としている。</p>
---------------	---

**この項目は任意項目です。当てはまるものがあれば記入してください。**

その他（PRポイントなど）	
---------------	--